

1. 実践にあたっての基本的な考え方

単元を通して「渋沢栄一」の生き方や考え方を学び、明治時代、西洋の文化や仕組みを取り入れながら、天皇を中心とした近代的な国家を目ざして、政治や社会の新たな仕組みづくりを進めたことを捉えさせる。幕末から明治初期にかけての歴史的事象を知ることを通して、日本が諸改革を行い欧米の文化を取り入れ近代化を進めていったことを理解させる。

「渋沢栄一」や「ガス灯」を切り口とし児童の興味関心を高め、明治時代を生きた人々が何を目指し、どのように改革を進めていったのか考えさせる。そのためにさまざまな図書資料を活用し児童に紹介しながら学習を進めていく。また、第6時に行う「ガス灯の明るさ体験」では、当時の人々の気持ちを体感できるものとして取り入れ、ガス灯が当時の生活をより便利にするものであったことや今の生活にもつながっていることを理解させる。

<本時の目標>

ガス灯が使われるようになり人々の生活がどのように変化したのかに着目し、西洋の文化を取り入れ、生活が大きく変化したことやそれらが今につながっていることを理解する。

2. 本時の指導

	主な学習活動	・指導 ☆評価 *資料
導入	○前時の振り返り ・外国にゆたかで強い国を目指す一方で人々の負担も大きかったということから、身分に関係なくいろいろなことができる世の中にするため渋沢栄一は500以上の会社を創設した。	
展開	・みんなの利益、みんなの幸せを考えた渋沢栄一は生活をゆたかにするインフラ事業に力を入れるべきと考えた。 ○渋沢栄一が力を入れ、生活を大きく変化させたものがここには隠されていますが、どれでしょう。 ・ガス灯 ・フランスで見たことがきっかけとなった。	*明治初め頃の東京（銀座）の様子を描いた錦絵
<div>【単元の学習目標】</div> <div>ガス灯が使われるようになり、人々のくらしはどのように変化したのだろう。</div>		
	○ガス灯の歴史紹介 いつ日本・東京に入ってきたか、 誰がはじめて作ったのか どこにガス灯が建てられたのか	

	<p>○ガス灯が使われる前に使われていたものはなんでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ろうそく、行灯 <p>○ガス灯が使われるようになり、人々はどんな気持ちだったのだろう。</p> <p>【予想を立てる】</p> <p>↓</p> <p>【ヒント1】</p> <p>室内でガス灯が使用されている錦絵</p> <p>↓</p> <p>【ヒント2】</p> <p>ろうそくの明かりとガス灯の明かりの体験</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ろうそくに比べ、ガス灯の方が明るい。 ・夜にできることが増えた。 ・夜も商売できるようになった。 ・町が明るく照らされたことを人々は喜んだ。 ・これまで見たこともないガスの明かりを恐れる人や憂う人もいた。 <p>○ガス灯が使われるようになり生活がどう変化したか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・便利で生活しやすくなった。 ・今の生活にもつながっている。 <p>○明治時代に始まったことを年表で確認し、西洋のものを多く取り入れようとしていたことを知り、この時代に人々の生活やものの考え方に変化が生まれたことに気付く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文明開化 ・福沢諭吉 	<p>*銀座商店夜景錦絵</p> <p>*ろうそくの明かりとガス灯の明かりの体験</p> <p>*横浜瓦斯史沿革編</p> <p>・明治時代と現代のガスの使われ方にはちがいがああるものの生活をよりゆたかにするものとしてつながっていることに気付かせる。</p> <p>*年表</p> <p>・今ではガスが使えることは当たり前となっていることを一つの例とし、現在の社会の基盤がこの頃にできたことに改めて気づかせる。</p>
まとめ	<p>○学習のまとめ・学習感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西洋の文化が取り入れられたことで人々の生活は便利で生活しやすいものになり、それは今にもつながっている。 	

3. 実践の模様

○第6時児童の学習感想より

【体験から】

- ・ガスの火が灯りになるのを見られて、明るさがろうそくとはすごく違うことがわかった。
- ・ガス灯をはじめて見てこわがることもあったと言っていたけど、ちょっとぶきみでぶくもそう思った。✓
- ・ガス灯の実験を見て、そのときの人々の気持ちや精一杯努力していた渋沢栄一の気持ちが分かり、とても楽しかった。
- ・実験を見て、明治の人たちがとても便利になったのだと思った。

【ガス灯】

- ・ガス灯の便利さを知ってガスの便利さもよく分かった。また、再確認できた。
- ・ガス灯は人々の役に立って人々の生活をいいほうにすすめていった。
- ・ガス灯などの便利なものが生まれ、今のくらしにもつながっていてすごいなと思った。
- ・明治時代に人々の生活が大きく変わったことで、今もその生活がつづいていることがわかった。
- ㊦今では夜本を読んだり勉強をしたりすることがふつうだけど、昔はそのようなことができなかったことが分かり、人々の願いを叶えたのがガスなんだと思った。
- ㊦ガス灯ができたからこそ夜少しでも多くの時間勉強ができるようになり、福沢諭吉がえらくなっていったのだと思う。
- ・今と昔ではガスの使い方が違うけれど、今も昔もガスは必要なのだと知った。

【文明開化】

- ・文明開化がなかったら今の生活は大きくちがっていたかもしれない。
- ・文明開化は今の人々の生活につながっているのですごいなと思った。
- ・明治時代は便利で生活しやすくなり、今の生活にもつながっていた。
- ・今では当たり前になっているもののなかには、このときできたものもあると考えるとなんだかものの見方も変わりそうだ。

【その他】

- ・明治時代の社会の変化が今につながっていると考えると、明治時代の人たちに感謝しなければならないと思った。
- ・ガス灯で人々の動きを変えた渋沢栄一はすごいと思った。
- ・渋沢栄一のように強い意見（考え）をもつと世の中が変わることを知った。
- ・この時代にガス灯ができたり、文明開化がおきなければ今の生活はなかったので、渋沢栄一に感謝したい。
- ㊦ガス灯がなかったらきっと今の生活はちがっていたと思うから、ほかにも「誰々がいなかったら・・・」とか「〇〇がなかったら・・・」と考えると勉強もおもしろいと思った。
- ・福沢諭吉と渋沢栄一と入れ替わり（1万円札で）の人物がどちらも文明開化にかかわっていておもしろい。

4. 成果と課題、反省

○本単元における児童の興味関心がとても高く、渋沢栄一という人物やガス灯のもつ魅力を強く感じた。

○ガス灯の明るさを体感する実験では、当時の人々の気持ちを想像するだけでなく自分自身が感じたことをまとめることができ、理解が深まった。

○渋沢栄一の生き方や考え方が本単元で学習する内容の流れと重なる部分が多く、単元を通して一人の人物を追うことで多くの気づきがあった。

△体験だけでなく、児童自身がさまざまな資料の中から必要な情報を選択し読み取り考えさせる時間を設ける必要がある。

△次の時代へのつながりをもたせることができるよう、さまざまな視点から見て良い点だけでなく課題となる点についても見つける力をつけさせることが必要であると感じた。